

135-0041

東京都江東区冬木11-17

牛群太郎

殿

検 定 年 月 日

平成 30 年 03 月 13 日

農家コード

20 01 001 立会

年間子牛生産状況

(平成29年02月～平成30年01月末 分娩または出生)

(1) 牛群検定における分娩状況

母 牛	分娩数	分 娩				流 産 ³	推 出 生 数 ⁴	推 定 新 生 子 牛 早 期 死 亡 ⁵
		双子以上()	死 産 (早産除く)	難 産 ¹	早 産 ²			
1 産	15	0.00 (0.00)	13.33 (13.33)	0.00	0.00	0.00	13	0 0.00
2 産	24	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	0.00	0.00	0.00	24	2 8.33
3 産以上	18	0.00 (0.00)	11.11 (11.11)	0.00	0.00	0.00	16	0 0.00
計	57	0.00 (0.00)	7.02 (7.02)	0.00	0.00	0.00	53	2 3.77

- 1 分娩難易3以上、難易報告がない場合は判定できません
- 2 授精報告があり妊娠期間が180～270日のもの、授精報告がない場合は判定できません
- 3 分娩数を分母とした場合の流産の割合
- 4 推定出生数 = (死産×0) + (単子分娩×1) + (双子分娩×2) + (三子以上×3)
- 5 出生後耳標装着前の推定死亡、出生報告が遅延すると値が大きくなる場合や表記されないことがあります

(2) 乳用子牛の生後1週間 / 1ヵ月までの管理状況

乳 用 種	出 生 報 告 数 ⁶	生 後 1 週 間		生 後 1 ヲ 月 ⁷	
		異 動	死 亡 ⁸	異 動	死 亡 ⁸
雄子牛	9	5 55.56	0 0.00	- -	- -
雌子牛	17	0 0.00	1 5.88	0 0.00	1 5.88

- 6 年間に当該農家で耳標装着された出生報告
- 7 生後1週間を含む、雄子牛については非表示
- 8 異動後に死亡した牛を除く 死亡率 = 死亡頭数 ÷ (出生報告数 - 異動頭数)

(3) 自家生産牛の比率⁹

本 牛	頭 数	自家生産		導 入
		自家生産	導 入	
1 産	15	53.3	46.7	
2 産	24	58.3	41.7	
3 産以上	18	55.6	44.4	
計	57	56.1	43.9	

9 年間に分娩報告した母牛

(4) 年間出生実績 (出生報告届出による)

母 牛	頭数	計	乳用種		乳用種		交雑種		E T ¹⁰		肉用種	
			頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%
1 産	13	13	2 15.4	2 15.4	1 7.7	8 61.5	4 30.8					
2 産	22	22	4 18.2	2 9.1	1 4.6	15 68.2	15 68.2					
3 産以上	16	16	6 37.5	4 25.0	0 0.0	6 37.5	5 31.3					
計	51	51	12 23.5	8 15.7	2 3.9	29 56.9	24 47.1					

10 肉用種 (交雑種含む) は出生報告届出に基づき集計。肉用種以外は牛群検定立会時に E T 報告を行ったもの

(5) 最終授精等

	頭数	計	最 終 授 精 (E T)						未授精 (未報告含む)		繁殖に供さず	
			乳用種 ¹¹		乳用種 ¹¹		交雑種		E T ¹²			不明
12ヵ月以上未加入牛	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
未 経 産	4	4	0.0	-	0.0	-	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0	0	0
1 産	18	17	3.8	22.2	3.2	18.9	4 23.5	6 35.3	6 35.3	0	1	0
2 産	25	22	4.3	19.4	3.7	17.0	3 13.6	11 50.0	11 50.0	0	3	0
3産以上	20	18	2.8	15.3	1.2	6.9	6 33.3	8 44.4	8 44.4	0	2	0
経産牛計	63	57	10.8	19.0	8.2	14.4	13 22.8	25 43.9	25 43.9	0	6	0
計	72	61	10.8	17.7	8.2	13.4	16 26.2	26 42.6	26 42.6	0	11	0

(6) 月別分娩予定頭数 (明細)

分娩予定年月	頭数(初産)	乳用種 ¹¹		乳用種 ¹¹		交雑種		E T ¹²		肉用種		不明		推 定 初 産 分 娩 ¹³
		頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	
平成30年03月	1 (0)	0.0	-	0.0	-	0	-	1 100.0	1 100.0	0	-	0	0	
平成30年04月	3 (1)	0.0	-	0.0	-	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	0	-	0	0	
平成30年05月	0 (0)	0.0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	
平成30年06月	6 (0)	0.9	15.0	0.1	1.7	1 16.7	4 66.7	4 66.7	4 66.7	0	-	1	1	
平成30年07月	5 (1)	1.8	36.0	0.2	4.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0	-	0	0	
平成30年08月	10 (0)	1.9	19.2	2.1	20.8	1 10.0	5 50.0	5 50.0	5 50.0	0	-	0	0	
平成30年09月	7 (1)	1.4	20.6	1.6	22.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0	-	1	1	
平成30年10月	2 (1)	0.0	-	0.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0	-	0	0	
計	34 (4)	6.1	17.8	3.9	11.6	9 26.5	15 44.1	15 44.1	15 44.1	0	-	2	2	

- 11 乳用種の性比については : = 48:52 (性選別 90:10) として計算。ただし性選別は略号末尾を「X」として報告したもの
- 12 E T は牛群検定立会時に E T 報告を行ったもの。そのうち、種雄牛略号から肉用種 (交雑種含む) を表示
- 13 検定未加入の未経産牛が平均初産月齢 25ヵ月 (あなたの検定成績) で分娩したと仮定したときの推定頭数